

科目名	小児看護学実習 Pediatric Nursing Practice		担当教員 (研究室番号)	前田 貴彦 (206) 宮崎 つた子 (207) 他		教員への連絡方法 (メールアドレス)	前田:takahiko.maeda@mcn.ac.jp 宮崎:tsutako.miyazaki@mcn.ac.jp					
履修年次	3年次 後期	科目 区分	専門科目・生涯看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(60)	授業 形態	実習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	小児看護の対象となる人の身体・精神・社会的特徴を理解し、その人がもつ健康問題に応じた看護を実践するための能力を養う。											
ディプロマ・ ホルダー (DP)	主要なDP	H 人々の健康に関する課題の解決に向けて、安心・安全・安楽自立を基本とした看護を実践する技能を身につけている。(技能・表現)										
	関連する DP	F 人々の健康的な生活支援するために、必要な情報を様々な方法により収集する能力を見につけている。(技能・表現) G 身につけた知識を基盤に、収集した情報を科学的・理論的に分析し、人々の健康に関する課題を把握する能力を身につけている。(思考・判断)										
到達 目標	1. 小児看護の対象となる小児と家族について理解する。 2. 小児を取り巻く専門職種について理解する。 3. 健康問題をもつ小児と家族への看護過程を展開する。 4. 健康問題をもつ小児と家族への看護実践を通して、自己の課題を明確にする。											
成績評価方法 (基準)	実習内容、実習記録、出席状況により評価する。											
再試験の有無と 基準等	「実習の出欠席および追実習に関する取扱要領」の第4条の記載される理由による1/4以上を超える欠席の場合に、追実習を認めることがある。											
教科書	特に指定しない。講義で配布した資料 等											
参考書等	及川郁子監修：病とともに生きる子どもの看護、メジカルフレンド社 石黒彩子・浅野みどり編集：発達段階からみた小児看護過程 第2版、医学書院 その他、適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	主に急性疾患、慢性疾患の患児を受け持ち看護過程の展開を行います。展開が早く、発達段階にあわせた支援が必要となるため、日々の学習をしっかりと行って下さい。そして、実習では小さな体で病と闘う子ども達が入院体験を前向きに捉えられ、一日も早く元気になれるよう皆さんの力を子どもとその家族に注いであげてください。皆さんもきっと子ども達からたくさんの元気と力、そして笑顔をもらえらると思います。小児看護の楽しさ魅力を一緒に感じましょう。											
備考												

学 習 内 容

実習期間

2週間（保育園での実習1週間、病院での実習1週間）

実習方法

実習前：全体オリエンテーションおよびグループ別オリエンテーションを受ける。

保育園実習：担当クラスの子どもの日常生活や遊びの援助を行う。

病院実習：実習期間を通し入院中患児を1名以上受け持ち、看護過程を展開する。

保育園での主な実習内容

- ・乳児期・幼児期の健康な子どもの日常生活援助
- ・乳児期・幼児期の健康な子どもの遊びの援助
- ・カンファレンス

病院での主な実習内容

- ・病院実習初日：実習施設別オリエンテーション（施設概要、病棟概要等）、受け持ち患児の決定
- ・受け持ち患児決定後：受け持ち患児と家族についての情報収集、看護問題の抽出、看護目標設定と具体策の検討、具体策の実施と修正、カンファレンス

実習場所：津市内の保育園

独立行政法人国立病院機構三重病院
日本赤十字社 伊勢赤十字病院
三重県立総合医療センター

※詳細については「実習要項」参照

学 習 課 題

事前課題：小児の解剖生理、小児各期の成長・発達の特徴、ピアジェの認知発達理論、子どもの病気の捉え方、子どもおよび家族とのコミュニケーションのとり方、基本的な生活習慣への援助方法、遊びの目的と遊びへの援助方法、小児のフィジカルアセスメント、身体を観察と計測方法について各自事前学習しておくこと。

事後課題：実習記録を指定の期日までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組

・担当教員全員、看護職として小児看護等の臨床経験を有する。担当教員は看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。